

守屋てるひこ 新たななる挑戦

小田原を愛する市民の声

集中連載 ④

11月16日に開催された「小田原の未来をつくる会」において、倉田雅史会長から提言を頂きました。

この会は6月29日以降5回にわたり年齢、性別、職業、居住地域の異なる方が参加し、地域経済や観光、福祉、医療、環境、エネルギー、子育て、教育、地域コミュニケーションなどについて幅広く議論されました。

私はすべての回にオブザーバーとして参加し、ワークショップ形式で、様々な意見が飛び



交う現場を目の当たり

にしました。参加者は本気で小田原を愛し、「10年後の小田原を想像しながら、今なにをすべきかを熱心に語っていました。そして参加者

総数268名、意見総数1234件から導かれた提言がまとめられました。

提言は3部構成になっており、第1部

「安全・安心・生活向上プラン」まちへの未来投資について」では、防災対策の見直し、地域医療体制の拠点としての市立病院整備、学力向上と教育環境の整備、交通インフラの整備など。

第2部「地域経済

【プロフィール】1966年11月9日生まれ。小田原市立芦子小、白山中、県立小田原高校、東京電機大学卒業、東京大学大学院修了(都市工学専攻)。92年4月に神奈川県庁入庁、2010年に退職。11年4月、県議会議員選挙(小田原市区)で初当選。15年、再選。19年4月、任期満了。現在は自民党小田原市連合支部長、東大大学院都市工学専攻研究生、慶応義塾大学SFC研究所上席所属。



好循環プラン、財政を豊かにする道」では、観光客の倍増、企業誘致、自然を活用した食と農林水産業の目玉づくり、スポーツ環境の整

備など。さらに第3部「政治姿勢への提言」では、実現可能なビジョンと行動力で決断と責任あるリーダーを目指すなどが盛り込まれました。

議論の過程を知る私は、この提言に込められた思いを、しっかりと形にしなければならぬという強い使命感を覚えました。予算がない、前例がない、制度の壁が……などと言いつつに、「どうすればこの提言を形にできるか」を考えてまいります。

1 守屋てるひこ後援会

〒250-0042 小田原市荻窪317-1
イセトヨビル2階

☎ 0465-43-9918 📠 0465-43-9917

✉ info@moriya-teruhiko.com

🌐 http://moriya-teruhiko.com

